芸術学部 ディプロマ・ポリシー
人間力
知識 人間、社会、自然等に関する知識・情報を体系的に収集・理解できる
思考力 正しい情報をもとに、物事を論理的に考えることができる
行動力 自らを律しながら、設定した課題に粘り強く継続的に取り組むことができる
倫理観 自らの良心に従い、社会のために芸術・デザインを活かすことができる
創造力 豊かな感性からの直感を、概念・イメージなどにまとめることができる
芸術の力を社会のために活かす
構想力 概念・イメージなどを紡ぎ合わせ、テーマ・仮説として練り上げることができる
表現力 テーマ・仮説などを、様々な媒体によって可視化・提案することができる

学科のDP
主に「理論」領域の科目において概論や多様な表現の展開を学ぶことを通じ、美術や工芸に関わる思想や歴史的背景のみならず、人間や社会に関する知識を修得する。その上で表現への展開や応用を系統的に理解する。
美術や工芸、人間、社会に関する知識を用いて、様々な事象について主体的かつ論理的に考える力。知識を自らの作品や生き方に応用するために必要不可欠であり、主に「理論」領域の科目および卒業制作で重視される。
社会と主体的に関わり活動してゆくために必要な基礎力を身に付け、自らの目標に向かって着実にプロセスを積み重ねる力。社会人として特に必要不可欠であり、学科合同の「キャリア・社会実装」領域の科目で特に重視される。
良心に従い他者への想像力をもって、自らの知識や技術、能力を適切に社会に生かそうとする力。社会人としてのマナーにも深く関わることからPCリテラシーやメディアリテラシーを含み、主に「キャリア・社会実装」領域の科目で重視される。
常識にとらわれず豊かな想像力や感性をもって柔軟にイメージを着想する力。作品制作のための必要不可欠な基礎力であり、主に1,2年次の「技術・表現」領域の科目において重視される。
自らの着想をもとに作品のコンセプトやテーマ、方法論を論理的に作り上げ実践する力。高度な作品制作のために必要な力であり、主に3,4年次の「技術・表現」領域の科目において重視される。
自らの着想や構想を論理的に整理し、作品として適切に練り上げてフィニッシュする力。創造力の主軸となる力であり、「技術・表現」領域の科目および卒業制作において特に重視される。

○ DPを達成するために特に重要
○ DPを達成するために重要
△ DPを達成するために望ましい

科目名 必修/選択 履修年次 講義/演習 単位数 ナンバリング 開講期 知識 思考力 行動力 倫理観 発想力 構想力 表現力
美術概論I 必修 1年以上 講義 2 20THE1S01 前期
美術概論II 選択 1年以上 講義 2 20THE1S02 後期
工芸概論I 必修 1年以上 講義 2 20THE1S03 前期
工芸概論II 選択 1年以上 講義 2 20THE1S04 後期
美術工芸史I 選択 1年以上 講義 2 20THE1L05 前期
美術工芸史II 選択 1年以上 講義 2 20THE1L06 前期
美術工芸史III 選択 1年以上 講義 2 20THE2L07 後期
美術工芸史IV 選択 1年以上 講義 2 20THE1S08 前期
表現研究IA 選択 2年以上 講義 2 20THE2S09 前期
表現研究IB 選択 2年以上 講義 2 20THE2S10 後期
表現研究IIA 選択 2年以上 講義 2 20THE2S11 前期
表現研究IIB 選択 2年以上 講義 2 20THE2S12 後期
表現研究IIIA 選択 2年以上 講義 2 20THE2S13 前期
表現研究IIIB 選択 2年以上 講義 2 20THE2S14 後期
進路研究 選択 3年以上 講義 2 20CAR3S15 前期
図学A 選択 1年以上 講義 2 20ART1S16 前期
図学B 選択 1年以上 講義 2 20ART2L17 後期
美術各論 必修 2年以上 講義 2 20THE2L18 前期
工芸各論 必修 2年以上 講義 2 20THE2L19 後期
コンピューター演習A 選択 2年以上 演習 2 20CAR2L20 前期
コンピューター演習B 選択 2年以上 演習 2 20CAR2S21 後期
コンピューター演習C～H 必修 1年以上 演習 2 20CAR2S22 後期
ソーシャル・アート演習I 選択 2年以上 演習 2 20CAR2L23 前期
絵画基礎演習A 演習 20ART2S24
絵画基礎演習B 演習 20ART2S24
彫刻基礎演習A 演習 20ART2S25
彫刻基礎演習B 演習 20ART2S25

テーマ 授業概要 到達目標
近代以降の美術概論I 近代以降の美術概論I 近代以降の美術概論I
近代以降の美術概論II 近代以降の美術概論II 近代以降の美術概論II
工芸概論I 近代以降の日本の工芸 近代以降の日本の工芸
工芸概論II 京都と工芸 京都と工芸
美術工芸史I 世界の都市問題と現代美術 世界の都市問題と現代美術
美術工芸史II 近代美術における「制作」の諸相 近代美術における「制作」の諸相
美術工芸史III 日本染織文化史 日本染織文化史
美術工芸史IV 造形と装飾に見る工芸の歴史 造形と装飾に見る工芸の歴史
表現研究IA 3D素材に関する技法材料研究 3D素材に関する技法材料研究
表現研究IB 3D素材に関する技法材料研究 3D素材に関する技法材料研究
表現研究IIA 2D素材に関する技法材料研究 2D素材に関する技法材料研究
表現研究IIB 2D素材に関する技法材料研究 2D素材に関する技法材料研究
表現研究IIIA 複製技術に関する技法材料研究 複製技術に関する技法材料研究
表現研究IIIB 複製技術に関する技法材料研究 複製技術に関する技法材料研究
進路研究 進路研究 進路研究
図学A 「かたち」を思考、認識し、描き、伝達する。 「かたち」を思考、認識し、描き、伝達する。
図学B 「かたち」を思考、認識し、描き、伝達する。 「かたち」を思考、認識し、描き、伝達する。
美術各論 創作者の思考と実践 創作者の思考と実践
工芸各論 創作者の思考と実践 創作者の思考と実践
コンピューター演習A デジタル環境でのイメージ制作 デジタル環境でのイメージ制作
コンピューター演習B デジタル環境でのイメージ制作 デジタル環境でのイメージ制作
コンピューター演習C～H デジタル環境でのイメージ制作 デジタル環境でのイメージ制作
ソーシャル・アート演習I 芸術と社会の接点から考え、協働し実践する 芸術と社会の接点から考え、協働し実践する
絵画基礎演習A みる・描く・教える・まなぶ みる・描く・教える・まなぶ
絵画基礎演習B みる・描く・教える・まなぶ みる・描く・教える・まなぶ
彫刻基礎演習A 張り子で置物を制作する。 張り子で置物を制作する。
彫刻基礎演習B 張り子で置物を制作する。 張り子で置物を制作する。

彫刻基礎演習C				20ART2S25															彫刻表現の基本的な要素である量や塊を意識しながら、様々な手法と思考を織り交ぜ、いくつかの課題を通して、その作業の積み重ねから表現力を高める。また、その形成されたフォルムと空間との関係性や見え方、あり方を学ぶと共に、独自の表現の可能性を探り、立体表現の魅力を高めることを目的とする。	課題を通して、彫刻表現の基礎的な技術力の習得や、モノを創り出す力・思考力を身につけることができる。そして、それらを指導する方法を学び、その魅力を伝える指導者としての資質を磨くことができる。	
デザイン基礎演習A		演習		20ART2S26															生活や社会に楽しさや優しさをもたらす、人間関係を豊かにするデザイン教育	心豊かな生活や生き生きとした社会を創造するため、感性を働かせ、目的、機能、美しさなどの調和を考えた課題を生み出し、知的・論理的に、情報をわかりやすく相手に伝えるコミュニケーションの能力や機能的で美しいものをつくりだす能力などを美術教育において育成する力を身に付ける。	
デザイン基礎演習B				20ART2S26															生活や社会に楽しさや優しさをもたらす、人間関係を豊かにするデザイン教育	心豊かな生活や生き生きとした社会を創造するため、感性を働かせ、目的、機能、美しさなどの調和を考えた課題を生み出し、知的・論理的に、情報をわかりやすく相手に伝えるコミュニケーションの能力や機能的で美しいものをつくりだす能力などを美術教育において育成する力を身に付ける。	
総合造形基礎I	選必 (コース 必修)	1	演習	2	20ART1S105	前期													素材と技法の理解(土)	土素材による造形	陶造形の制作を通して、土素材の特性を踏まえ、陶芸の基礎的な技術(手びねり・ろくろ)を身につける。
総合造形基礎II	選必 (コース 必修)	1	演習	2	20ART1S106	前期													造形基礎	人体モデルを対象にした粘土素材による等身大の首像の制作 石膏による型どり	1) 等身大の首像の制作を通して、身体構造を骨格的、解剖学的にとらえることができる。 2) 粘土素材による塑像の技術・石膏による型どりの技術を身につける。
総合造形基礎III	選択	1	演習	2	20ART1S107	前期													素材と技法の理解(FRP)	FRP(繊維強化プラスチック)素材による造形	プラスチック素材の特性を踏まえ、基礎的なFRPの技法を身につける。
キャリア基礎演習	必修	1	演習	2	20CAR1S30	前期													修学素養・造形基礎・キャリア基礎	・大学でなぜ学ぶのか、そのために大学で何が出来るのかを、学内外の施設と活用方法を通して知る。 ・授業ドキュメント制作の習慣を身につける。 ・学内のオンライン環境を経験し、メールやネットでの連絡・コミュニケーション方法を確認する。 ・美術・工芸を制作するための必要となるデッサン、クロッキーにおいて基礎的な観察と描写を行う。 ・未来設計、お金の話、在学生の先輩の話を通して4年間を俯瞰し自分を取り巻く学習環境のイメージを持つ。	京都の芸術大学で学ぶことの意義を感じ、これからの4年間の大学生活の素養・造形的な基礎を身につける。
総合造形基礎V	選必 (コース 必修)	1	演習	2	20ART2S109	後期													素材と技法の理解(木工と塗装)	木工と塗装の技術を用いた展示台の制作	自ら設計した展示台の制作を通して、合板を用いた木工技法と基礎的な塗装技術を身につける。
マテリアル・リサーチD	必修	1	演習	2	20ART2S110	後期													【複合的素材研究】	【一年生合同授業】 作品作りに欠かせない技法材料について美術工芸学科6コースをジャンル別に分け横断し、それぞれの技法材料について実際に触れながら体系的に学ぶ。それらを「マテリアルブック」として一冊にまとめ、以後の作品制作の応用に繋げる。	1) 自コース以外の技法材料について学ぶことで作品制作に多角的な視野を持つことができる。 2) 講義及び実習の中で知り得た情報を適切に整理・保存することができる。
総合造形基礎VII	選択	1	演習	2	20ART2S111	後期													素材と技法の理解(金属)	金属素材による造形	鉄素材による作品制作を通して、切断・研磨・溶接の基礎技術を身につける。
総合造形基礎VIII	選択	1	演習	2	20CAR2S112	後期													表現基礎	デッサン、クロッキー、PC、写真	描写、PC、写真などの基礎的な表現技術を身につける。
総合造形演習I	選必 (コース 必修)	2	演習	2	20ART2S113	前期													技法体験	土・ガラス・樹脂・塗装、他、様々な素材・技術のワークショップ を選択し、体験する。	自らの表現のヒントを探るため、様々な素材・技法に取り組むことができる。
総合造形演習II	選必 (コース 必修)	2	演習	2	20ART2S114	前期													陶芸実習	陶芸による作品制作	陶芸における土素材の特性を踏まえ、成形技術、焼成技術を身につける。
総合造形演習III	選択	2	演習	2	20ART2S115	前期													グループ制作	グループで深くテーマ・制作・発表へのプロセスのプレゼンテーションと、コラボレーション作品の実現	1) グループ内での相互理解を深めて共通の目的を築き、テーマ・制作・発表へのプロセスをプレゼンテーションができる。 2) そのプレゼンテーションをもとに、互いの能力を生かし、協調と協力を意識し、コラボレーション作品を実現できる。
総合造形演習IV	選択	2	演習	2	20ART2S116	前期													木彫実習	木彫による作品制作	木素材の特性を踏まえ、木彫の技術を身につける。
総合造形演習V	選必 (コース 必修)	2	演習	2	20ART2S117	後期													モデリング実習	フィギュアの制作	フィギュアの造形を通して、モデリング技術を身につける。
総合造形演習VI	選必 (コース 必修)	2	演習	2	20ART2S118	後期													進級制作に向けて + 3Dモデリング実習	インスタレーションの意味や先行作家の独自の発想・表現方法を学び、独自の発想・表現方法を模索する。 3Dモデリング実習	1) インスタレーションの意味と現代の美術状況の知識を深め、自らの発想やテーマに沿った作品制作に向けて、素材・技法を選択し、プランニングを始めることができる。 2) 基礎的な3Dモデリングの技術を身につける
総合造形演習VII	選択	2	演習	2	20ART2S119	後期													進級制作 + 3Dモデリング実習	インスタレーションの実現 3Dモデリング実習	1) これまでに培った素材・技法を基に、自らの発想やテーマに沿った作品制作をすすめる、インスタレーションを実現することができる。 2) 基礎的な3Dモデリングの技術を身につける
総合造形演習VIII	選択	2	演習	2	20CAR2S120	後期													自らのテーマを探る	作家研究・プレゼンテーション・ポートフォリオ・写真	1) ポートフォリオの作成技術の充実を工夫する。 2) 自らの表現のテーマを探るため、先行作家の調査・研究し、その成果をプレゼンテーションすることができる。
総合造形表現I	選必	3	演習	2	20ART3S121	前期													ゼミナール	ゼミでのディスカッションを繰り返して、自らの表現スタイル、テーマを構築し、素材と表現のマッチングを模索する。プランニングの制作を始める。	1) 自らのテーマや、作品制作のプランニングの発表ができる。 2) 自らの表現スタイル、テーマを設定し、制作し始めることができる。
総合造形表現II	選必	3	演習	2	20ART3S122	前期													芸術の社会還元の実践 I	自らのテーマに基づく作品制作 社会実装に向けて提案・企画、企画 学生間のコミュニケーションを通して展覧会を企画	1) 自らのテーマに基づく作品制作をすすめる。 2) 社会実装に向けて提案、企画する力を養う。 3) 展覧会企画に対して積極的に取り組むことができる。
総合造形表現III	選必	3	演習	2	20CAR3S123	前期													芸術の社会還元の実践 II	制作、展示空間の構成 展覧会の実施 社会実装に向けたプレゼンテーション	1) 制作をすすめる、展示空間の構成ができる。 2) 学生間でのコミュニケーションを通じた展覧会の展示が実現できる。 3) 社会実装に向けたプレゼンテーションができる
総合造形表現V	選必	3	演習	2	20THE3S124	後期													学外展に向けて + 言語による表現	学外展に向けて、エスキース、プランニング、制作 言語による表現を試み、思考力・分析力の向上をはかる。	1) 学外展に向けてのプランニングを発表できる。 2) 自らの制作意図を客観的に分析し、制作のテーマやコンセプトを文章にできる。
総合造形表現VI	選必	3	演習	2	20ART3S125	後期													学外展に向けて	学外展に向けて制作 ポートフォリオの制作	1) 自らのテーマに沿って作品制作をすすめることができる。 2) 制作意図や制作活動が効果的に伝わるポートフォリオが作成できる。
総合造形表現VII	選必	3	演習	2	20ART3S126	後期													学外展	制作、学外展の実施 展示空間の構成と制作意図のプレゼンテーション	1) 学生間で協力し合い展示空間の構成に携わることができる。 2) 自らの制作意図をプレゼンテーションすることができる。
総合造形表現IX	選択	4	演習	2	20ART3S127	前期													ゼミナール	ゼミの教員による卒業制作の指導・進路指導 卒業制作に向けてステイメント作成、ポートフォリオ作成 ゼミの教員と十分にミーティングを持ち、ブラッシュアップさせる。	1) 4年間の集大成である卒業制作の試作をすすめる、プランニングを発表することができる。 2) 卒業制作に向けてステイメント作成、ポートフォリオ作成をブラッシュアップさせることができる
総合造形表現X	選択	4	演習	2	20ART3S128	前期													プレ卒業制作、展覧会に向けて	プレ卒業制作として、展覧会に向けてのエスキース、プランニング、制作、展示空間の構成、プレゼンテーションを実施。	展覧会に向けてのプランニング、制作、発表を通して、卒業制作に向けた展覧会を回ることができる。
総合造形表現XII	選択	4	演習	2	20ART3S129	後期													卒業制作	4年間で培った技術・技法・表現の集大成として、卒業制作のプランを固め、展示計画、制作をすすめる。	探求心と向上心を持ち、計画的に作品制作をすすめることができる。
卒業研究・制作D	必修	4	演習	4	20ART3S130	後期													卒業制作仕上げ	今まで積み重ねてきた表現をもとに各自が卒業制作を完成させると同時に、共同で展覧会の準備を行う。	自分の考えが表現できるような実践的な制作と展示を行うことができる。 協働して卒業制作展を仕上げることができる。